


心のバリアフリー教育グッドプラクティス 応募資料

学 校 名	千葉県立四街道北高等学校	
ア 全校児童生徒数	746名	(令和4年5月1日現在)
イ 実践対象 (学年・人数など)	① 全校生徒 746名 (出前授業は第3学年のみ) ② 第1学年 279名 ③ 手話ソングの会 14名他 ④ 保育基礎コース生徒 36名	
ウ 実践内容 (実施時期・概要など) ※画像の挿入可	① パラスポーツ体験 10月：体育の授業におけるボッチャ体験 ボッチャ選手による出前授業 (第3学年のみ) ② パラスポーツ講演会 11月：道徳教材「青春のホイール」視聴 12月：元車いすバスケットボール選手 京谷和幸 氏の講演 ③ 手話による活動・交流 5月：千葉テレビへの手話バージョンのミュージックビデオ出演 11月：高校生プレゼンテーションコンテストグランプリ受賞 12月：千葉聾学校との交流会 ④ 保育基礎コースでのボランティア活動・障害者理解促進 8月：保育園ボランティア1日実習 11月：四街道市児童センターで親子対象おはなし会実施 1月：高大連携出前授業「障がい児教育」(予定)	
エ 実践の普及啓発 (地域等との交流や 広報方法など)	① ・近隣の特別支援学校から用具拝借、競技ルール説明 ・出前授業のプレスリリース、学校Webページ掲載 ② ・学校Webページ掲載 ③ ・千葉テレビ放映、YouTube放映 ・学校Webページ掲載 ④ ・学校Webページ掲載	
オ 実践成果 (児童生徒の変化など)	① パラスポーツ理解を促進できるとともに、楽しさを体感した。ボッチャを体験し、様々な場で交流できるスポーツであることを理解した。 ② 講演会後のアンケートによると、「あきらめないことが必要だと思った。」「障害があるなしに関係なく、支え合うことが大切だと思った。」「いろいろな人が支え合うことで、困難を乗り越えることができると感じた。」などの意見があった。 ③ プレゼンテーションの準備・発表等を通じて、さらなる意欲向上を見取ることができた。 ④ 保育に対する知見を深め、キャリア教育実践に寄与でき、保育系上級学校への進学意欲が向上した。	
カ 次年度の予定 (課題や改善策など)	①② パラスポーツに関する体験会や講演会を実施する。 ③ 手話ソングの会の活動を継続し、手話の普及に努める。 ④ 保育基礎コースを中心に、高大連携やボランティア活動を推進していく。	

キ 添 付 資 料 (広報資料・Web 記事など)	① 報道発表資料 ボッチャ、車いすバスケット<資料1> ② Web 記事・ボッチャ、車いすバスケット<資料2> ③ 千葉聾学校交流、Web 記事・ミュージックビデオ<資料3> ④ Web 記事・保育基礎コースでのボランティア活動<資料4>
------------------------------	--

※A4サイズ2ページ以内に調整すること。